

みなさんお元気ですか。

2017年1月の当道場での様子をお便りします。ご覧くださいませ。



2017年1月5日、稽古初め。今日から今年の稽古を開始した。ニカラグアでは、普通稽古事は、第二週の1月8日（月）から初めるらしい。私は、クリスマス休暇も終わり十分休日を楽しんで、もうすでに仕事をしている人も大勢いるから、5日からのスタートも早くないと思って予定を組んだ。先月は、2、3人の日々が続いていたから、はたして今月は何人くるかと疑問と不安があった。しかし、初日に7人の生徒が集まった。そして、見学者もあった。この国も新年にあたり、新しい習い事を初める習慣があるのかなあ。どれだけ長続きするのか興味がある、人数が増えて私も少し安心した。新しい道場に移転して、畳もないままでのスタートとなり、生徒はあまり意欲も関心もないのかと思ったが、良いスタートとなった。



1月6日。今年二日目の稽古。昨日は良い出足だった。しかし、今日も同じ小ホールを使えると思って行ったら、管理者が二人ともいなくて、使えなかった。小ホールが空いているのに使えない。管理者は我々が使うことを知っているのに、どうして気を使ってくれないのか、と憤りを感じた。生徒にこのことを話したら、ニカラグアでは、これは普通。管理者は、「金」以外のことは何も考えてないとのこと。替わりの大ホールが空いていたので、ここを使用した。しかし、昨日誰かが使ったのか、ゴミだらけ。誰も掃除をしない。また利用者は、床にゴミを捨てることを何とも思っていない。誰かが掃除をすると思っている。我々が掃除をして、稽古をした。靴をはいたままでの稽古となった。しかし、久しぶりに古い生徒も来てくれて、私の気持ちも少し和らいだ。



1月8日、出前授業である武士道道場での稽古初日。参加者は、Luis さん一人だった。彼と久しぶりに体術の稽古をした。胸取り、片手取り1教から2教まで。新年にあたり、4月および8月に昇級審査をするので、必ず受けるように言った。彼もそのつもりでしっかり稽古したいと言った。彼はまだ大学生だけど、こちらの若者に人気のある空手やテコンドーのような武道は好きでない。しかし、日本の武道精神が好きだ。それを学びたいとも言った。また、書道もやりたい。今度ガールフレンドを連れて私の家に行きたい。そしていずれは、日本にも行ってみたい、とも言った。私は、彼のように長期的な展望を持った人がこの道場で合気道を学び、そして次の世代に伝えてくれるような人材を育てていきたい。彼は、私の想いを引き受けてくれる人だとも思った。



1月8日、合気道幹部と我が家で朝食をとった。昨日突然私に電話があり、明日ミーティングをしたい。朝食に「ナカタマル」をみんなと一緒に食べよう、とのこと。こちらの方は、本当に前ぶれもなく急に話をもってくる。当日、話したいことは何かと尋ねたら、新道場での畳購入、授業料の徴収、今後の活動などだった。私は先週、適切な畳が見つかったので、購入したい、JICAにも資金援助を申請したい、と言ったので、きっとその事の問題でも言いに来たのかと思っていた。しかし、そうではなく今後の購入手段や資金徴収のための銀行口座開設など、また一年間の予定を決めたいとのこと。昨年も幹部会をやったことがあるが、今年の幹部会をいつ行うか一度も話してなかった。彼らも少しは、先の事を考えていてくれるのだなぁと実感した。後は、どれだけ彼らが実行に移してくれるかだ。私は、畳が新道場に設置されることを願ってやまない。そして、この生徒たちの計画が実際に実行されることを願っている。



1月9日、今日は、今年の稽古初めから三日目。ニカラグアの三日坊主は、だれか。それとも今日もみんな稽古にくるか興味津々。私も「初心を忘れず」の意気込みで道場に行った。しかし、公園管理者の二人ともいなかった。5時で帰ってしまったとガードマンが言った。道場の鍵はだれも持ってなくて、小ホールの道場施設を使うことができない。私たちが毎日使う事は、彼たちは知っているのに。どうして配慮してくれないのか。生徒は7人ほどやってきた。生徒の一人が公園管理者に連絡した。そしたら、「我々は正規の時間、午後5時までは働くけどそれ以降は時間外になり残業代もでないので、働かない。稽古したいなら大ホールが開いているから、そこを使えとのこと、だった。いわゆる彼らはストライキをしている。明日は大統領の就任式が行われる。それに合わせてストをしているらしい。あすも道場はつかえないらしい。



しかたがなく、大ホールを使用することにした。いつものように床をモップで掃除した。生徒が8人くらいがやってきた。時間は6時をまわり辺りは暗くなってきたので、照明をつけた。しかし、しばらくしたら停電になってしまった。実は今朝からニカラグア全土で停電だった。数時間で復帰するが、また停電と繰り返していた。夕方になって回復するかと思ったが、またか、といった感じだ。生徒も稽古したいと意気込んできているようだったが、約30分後に稽古は中止と決めた。私も諦めて、公園の門を出た。そしたら、公園の外灯が点いた。大ホールの照明もポツリとついた。ああもう遅い。生徒はみな帰った。仕方がない。新道場の運営はなかなかうまくいかない少し意気消沈して帰った。